

株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局

2015 年度 放送番組審議会 議事録

【日 時】 2016 年 3 月 29 日(火) 10:56~12:45

【場 所】 株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局 4 階会議室

<放送番組審議会委員>

ご出席

梶山 孝夫 様 栗原 政男 様 辻 雅弘 様
中野 貴之 様 横溝 明夫 様

<事業者 : 株式会社ジェイコムイースト秦野・伊勢原局>

秦野・伊勢原局 局長 上田 康夫
管 理 部 長 吉田 久美子
地域プロデューサー 荒木 洋邦

<事業者 : 株式会社ジュピターテレコム 関東メディアセンター>

神奈川制作グループ長 高橋 武洋
業務推進グループ 竹安 克哉

1. 開会

午前 10 時 56 分・定刻 4 分前に審議会を開会した。

審議会規程の過半数の出席を満たし(委員 5 名全員出席)、会は成立。

出席委員・事業者が自己紹介。事業者を代表して上田局長が開会の挨拶を行ったのち、事務局提案を受け、会長には中野委員が選任された。

その後進行を中野会長に委任し議事に移った。

2. 株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局の現況報告 (事業者)

① 営業概要

- ・対象世帯数 106,620 世帯のうち加入は 19,090 世帯で加入率 17.9%
- ・集合住宅導入率 約 67%(今年度 10%UP)
- ・J:COM チャンネル視聴可能世帯数は 66,535 世帯

- ② J:COM について
 - ・JCN との合併により 29 社 74 局。2016 年 4 月より神奈川第二ブロックに。
 - ・J:COM 電力
 - ・2015 年 5 月より 4K 商用放送開始
 - ・J:COM MOBILE
- ③ 地域との関わり-1
 - ・J:COM Everywhere の実現へ
 - ・株式会社エニー :TSUKEMEN ・アスミックエース株式会社 :映画制作配給
 - ・地域情報 :「デイリーニュース」「タなび」「ご当地サタデー」
- ④ 地域との関わり-2
 - ・地域プロデューサー :「お客さまと地域社会」の具現化
 - ・イベント企画、地域連動 :「伊勢原観光道灌まつり」「秦野たばこ祭り」他
 - ・CSR 活動 :「スポ GOMI in 秦野」
 - ・地域安全に関する協定締結 :秦野警察署、伊勢原警察署「こども 110 番のくるま」
- ⑤ J:COM チャンネル広域的連携(神奈川県ケーブルテレビ協議会:8 社)
 - ・かながわ CATV 情熱プロジェクト :「高校野球神奈川大会」「かながわ情熱アスリート」
 - ・デイリーニュース、タなび取材(伊勢原市 44 本/秦野市 66 本)

3. J:COM チャンネルの報告 (事業者)

- ① J:COM チャンネル編成方針
 - ・地域密着、地域力強化(地域プロデューサー、地域アナウンサーの擁立)
 - ・デイリーニュースの定着化
- ② 主なレギュラー番組、特別番組、生中継番組、県域番組の紹介
 - ・レギュラー番組
 - 「デイリーニュース」「タなび(1月からリニューアル)」
 - ・特別番組
 - 「学童軟式野球大会/J:COM CUP」「秦野たばこ祭り」「伊勢原観光道灌まつり」
 - 「高校野球神奈川大会 生中継」「高校野球ダイジェスト 2015」
 - ・J:テレ(地域発全国放送)
 - 「ご当地サタデー」「浜降祭」「第 10 回湘南国際マラソン」「泉秀樹の歴史を歩く(特番)」
- ③ 番組のダイジェストを約 23 分にまとめた DVD を視聴
 - 「デイリーニュース」「秦野市少年野球大会」「ご当地サタデー(古谷秦野市長出演)」
 - 「高校野球ダイジェスト 2015」「かながわ情熱アスリート」「かながわ駅伝」「さいたまクリテリウム」「湘南ベルマーレ vs SC さがみはらドリームマッチ」「秦野たばこ祭り」「伊勢原観光道灌まつり」

4. 審議（質疑応答 意見交換）

委員：＜今後の番組作りや定点カメラの取り組みについて＞

- ・昨年と比較して、本当にたくさん取り上げていただいた。
- ・一本一本の番組のクオリティが高い。特に「ご当地サタデー」で秦野市の紹介 VTR を制作いただいたが、しっかり取材をしていただき、とても良くできていた。

・質問を3点

- 1) ブロックが2つに分かれるということだが、どのような番組作り、放送を考えているのか？
- 2) 定点カメラの今後の設置計画を詳しく教えていただきたい。
- 3) スタジオの今後の展開は、どのような構想なのか。

(回答)事業者：

- 1) 番組作りに関しては「どローカル」をキーワードに徹底的に地域情報を数多く取材し、デイリーニュースと特番の制作に力を入れる。
- 2) 定点カメラは現在県内で15カ所あり、スマホのアプリで見ることができる。現在は海沿い、交通渋滞の要所に設置しているがまだまだ十分ではない。
- 3) 県内のスタジオは現在、辻堂、新百合ヶ丘、小田原、戸塚、鎌倉、馬車道にある。比較的湘南に多いが、今回、県央エリアに仮設で新百合ヶ丘スタジオを作った。来年度は県央にしっかりとしたスタジオを作っていきたいと考えている。

委員：＜イベント前の準備や練習も取材できないか＞

- ・今後、加入世帯が増えるにつれ J:COM への期待も高まって来ると思う。
- ・取材をしていただく中で、特にお子さんを見たいという要望が多いと思う。例えば、本番前の練習風景を取り上げることができないだろうか？

(回答)事業者：特別番組に関しても、イベントがどうやって作り上げられていくのか事前取材をし、ドラマをお見せすることができるよう次の機会には考えたい。

(回答)事業者：局内では、祭りのメイキング VTR を制作したいと考えており、メディア部門と相談し実現できるようにしたい。

委員：＜伊勢原市の視聴エリア拡大を望む＞

- ・昨年よりも地域情報を多く取り上げていただいて、これは地域プロデューサーの力が大きいのではないかと感じる。
- ・せっかく良い番組を作っている一方で、伊勢原市の視聴可能エリアが狭い。市全域でなくとも市街地だけでも視聴できるよう、エリアを拡大していただきたい。
- ・以前、番組を市役所のロビーで放映したいと要望を出したが著作権の問題があり、難しいとの回答だった。何とか柔軟に対応できないか。

- ・大山の頂上に J:COM の定点カメラ設置を検討できないか。
- ・今年は「神奈川駅伝」も初めて取り上げていただきありがたかった。次年度以降も引き続きお願いしたい。

(回答)事業者 : 地域プロデューサーの活動を評価いただいたが、プロモーション担当が地域プロデューサーとなり活動できたことが良かったと思う。今後も継続していきたい。伊勢原の延伸については結果が出ていないが、定点カメラのご意見もあり大山までのエリアと小稲葉周辺エリアは将来的にサービス提供できるよう検討中である。定点カメラの件も引き続き検討する。

(回答)事業者 : 市役所ロビーでの視聴の件は、二次使用となるため著作権がクリアになっていないため難しい。但し、来年度に向けてネット上で番組をアーカイブし、いつでもどこでも見られるような仕組みを構築できないか検討中である。

委員 : <生活情報としてイベント、防災の次に何を上げるのか？>

- ・地域プロデューサーが、地域密着を足で稼いでいることを評価したい。
- ・地域密着＝生活情報だと思うが、コンテンツとしてイベントと防災の次に何を提供されるか我々としては関心がある。
- ・情報提供をするチャンネルを、伊勢原市商工会として用意が必要と感じる。

(回答)事業者 : J:COM Everywhere については、今後も社会のニーズを捉え、様々なチャンネルを展開していく予定である。

(回答)事業者 : 委員のご指摘のとおり、市役所と比較して商工会に赴く頻度が少ないというのが反省点である。今後、商工会にも平均的に足を運び、個人的な繋がりではなく J:COM と商工会という面での繋がりを広げていきたい。

委員 : <地域の人が集える J:COM ステーションを作って欲しい>

- ・昨年度と比較して取材件数が 110 件と大幅に増え、J:テレで地域発信をされていることも有意義だと感じる。
- ・地域の人が集まる場所(地域ステーション＝J:COM ステーション)のような場所を作っていただければ良いと思う。
- ・定点カメラを利用した渋滞情報サービスなどは構築できるのか。

(回答)事業者 : 定点カメラ情報は、すでにスマホで見られる状態にあり運用を開始している。

但し、カメラ設置は高額なため、加速的に増加させることは難しい。したがって、今後もより有益な場所等を検討した上で設置していくことになる。

(回答)事業者 : 防災の面では、今後の情報入手手段はスマホがメインになってくると思う

ので(定点カメラについても)引き続き対応していけるように努力したい。

常総のゲリラ豪雨の際にも茨城局でリアルタイムに特番を組み、行政からも評価を得た。

秦野・伊勢原局エリアも山が多く豪雨への対応という点で環境づくりをしていきたい。

地域ステーションは、他局では駅周辺などにJ:COM ショップを構えて(全国で100店舗以上)おり、またスタジオや多目的スペースを設けて地域の方にも利用していただいている拠点もある。

我々の局では、こちらも同様に他局では展開されているが、意欲あふれる団塊の世代の方々に活躍の場を提供し生きがいの一つにしていだけるよう、地域コミュニティ活動への参加を支援する「いきいきプロジェクト」を立ち上げていきたいと考えている。

以上をもって質疑応答が終了し、午後0時45分に審議会を閉会した。

以上